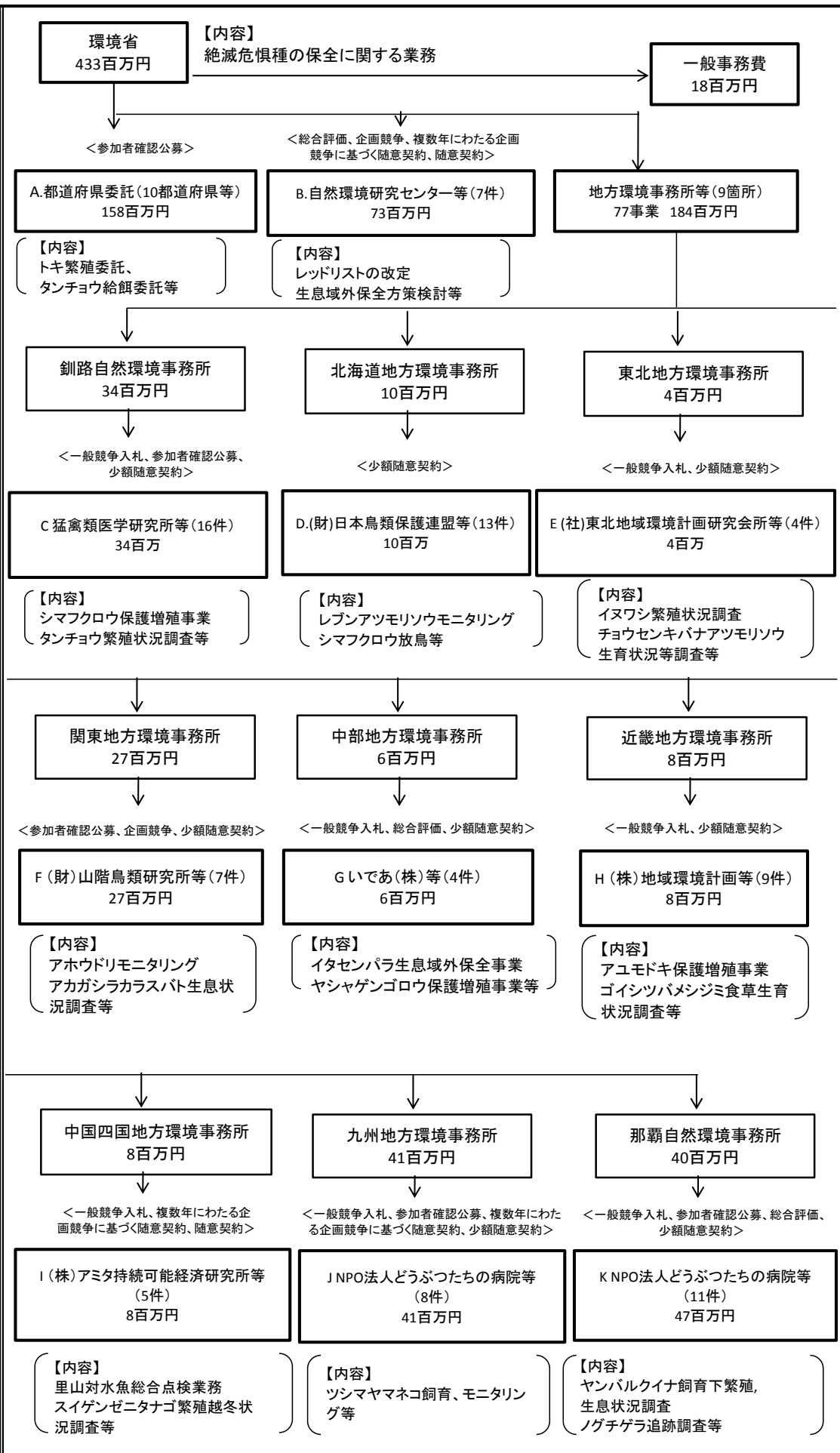


行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	希少種保護推進費		事業開始年度	平成5年度	作成責任者	
担当部署庁	自然環境局		担当課室	野生生物課	課長 塚本 瑞天	
会計区分	一般会計		上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に 関する法律(第46条)		関係する計 画、通知等	保護増殖事業計画 希少野生動植物種保存基本方針		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存のため、生息状況・生息環境・生態等の調査や、野生復帰等の維持回復のための事業、レッドリスト(日本の絶滅のおそれのある野生生物の種の一覧)の策定等を行い、以てそれらの種の絶滅を回避し、安定的な生息・生育を目指すもの。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	①希少野生動植物の保護増殖事業(保護増殖事業(調査、生息環境の改善、巡視、普及啓発など)) ②レッドリストの策定・公表 ③生息域外保全方策の検討や推進のための生息域外保全モデル事業の実施					
実施状況	①保護増殖事業計画が策定されている47種を中心の保護増殖事業を実施。特にトキについては平成20,21年で試験放鳥を実施。タンチョウ、アホウドリについては、一時は絶滅の危機に瀕したが、個体数が着実に増加。 ②レッドリストについては平成24年度を目途に改訂作業中。 ③平成21年に「絶滅のおそれのある野生動植物種の生息域外保全基本方針」を策定、併せて生息域外保全モデル事業の実施。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	389	414	443	466	
	執行額	389	414	433		
	執行率	100%	100%	98%		
	総事業費(執行ベース)	389	414	433		
自己点検	支出先・ 用途の把 握水準・ 状況	本省で実施するレッドリストの改訂や、生息域外保全方策の検討などの業務においては、環境省職員が請負先との連絡を密にとりながら進行を管理し、業務を適正に履行している。 地方環境事務所等実施する絶滅危惧種の保全のための調査や生息環境の改善のための事業等の実施にあたっては、環境省職員が請負先とスケジュールや方法などを調整し、事業の実施の際には職員と現場を確認するなど、適正に業務を実施しており、調査の結果や効果については、検討会で報告し、専門家から助言をいただいている。				
	見直しの 余地	環境省が公表している現在のレッドリストには絶滅危惧種が3,155種掲載されている。これらの種の絶滅を回避するためには、生息状況の調査、生息環境の維持回復、密猟・盗掘対策、その後のモニタリング調査などが必要となる。本予算は上記のために必要な予算であり、今後も専門家等とも連携しながら効率的・効果的な調査や事業を展開していく。				
予算 チーム 監視 の・ 効率 見率						
補 記						

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位:百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.都道府県(10件)			E.(社)東北地域環境計画研究会等(4件)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	佐渡トキ保護センター職員給与等	51	雑役務費	イヌワシ繁殖状況調査	2
業務費	非常勤職員賃金、トキ飼料等	69			
計		120	計		2
B.自然環境研究センター等(7件)			F.(財)山階鳥類研究所等(7件)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	レッドリスト分科会資料作成人件費等	5	雑役務費	鳥島アホウドリモニタリング等	9
業務費	レッドリスト分科会・検討会資料印刷費	1			
雑役務費	生息域外保全方策の検討等	47			
計		53	計		9
C.猛禽類医学研究所等(16団体)			G.いであ(株)等(4件)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	希少猛禽類飼育等	11	雑役務費	イタセンバラ生息域外保全	3.0
計		11	計		3.0
D.(財)日本鳥類保護連盟等(13件)			H.(株)地域環境計画等(9件)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	シマフクロウ放鳥等	5	雑役務費	アユモドキ外来魚調査等	2
計		5	計		2

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

I.(株)アマタ持続可能経済研究所等(5件)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	中国四国地方里地里山における淡水魚類保全特別総合点検業務	4.2			
計		4.2	計		
J.NPO法人動物たちの病院等(8件)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	対馬野生生物保護センターにおけるツシマヤマネコ飼育等	15			
計		15	計		
K.NPO法人動物たちの病院等(11件)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ヤンバルクイナ飼育下繁殖等	17			
計		17	計		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計			計		